

令和3年度			
講習の区分	<選択必修領域講習>受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域		講習時間数 6 時間
講習の名称	【選択必修】英語教育における「音楽」の位置づけ—理論的考察および効果的指導方法の検討—		講習形態 講義・実習
開設者	長崎外国語大学		定員 40名
開設日/時間	令和3年8月7日(土) / 9:00~17:00	会場	長崎外国語大学(長崎市) M205教室
主な受講対象者	学校種	<input type="checkbox"/> 幼 <input checked="" type="checkbox"/> 小 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 特支	
	免許職種、教科等	<input checked="" type="checkbox"/> 教諭(英語・音楽) <input type="checkbox"/> 特定しない	
	職務経験等	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 特定しない	
講習の概要	英語教育		
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員：川島 浩勝 (外国語学部教授) /kawashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp/095-840-2000			
担当教員(分担担当者等)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい：英語教育における「音楽」の位置づけを理論的側面と実践的側面から考える。 講習方法：講義/演習/グループディスカッション 講習到達目標：英語教育において「音楽」の位置づけを行うための基礎的知識を得ることができ、また、効果的に「音楽」を使った授業を実践できる。			
講習内容(概要) /講習計画(時間毎の講習内容を含む) /キーワード 講習内容(概要)：言語と音楽には深い関係があると言われており、脳科学の分野などにおいて両者の関係の解明が進められている。一方、教育現場においても、音楽の有用性は広く認められ、英語の授業で音楽が用いられることは珍しいことではなくなっている。本講義では、言語学習における音声果たす役割や言語と音楽の関係に関する最近の研究等を基に、英語教育における「音楽」の位置づけを理論的側面と実践的側面から考える。 講習計画・内容：			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	9:00~ 9:10	川島浩勝
	講義・演習・議論①(休憩20分を含む)	9:10~12:30	川島浩勝
	昼休憩	12:30~13:30	
	講義・演習・議論②(休憩20分を含む)	13:30~16:20	川島浩勝
	休憩	16:20~16:30	
	筆記試験	16:30~17:00	川島浩勝
キーワード： (言語学習) (音楽学習) (音声指導)			
成績評価の方法	成績評価は、講習中の課題への取組、試験の成績等から総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	プリントを配布します。		
各自で準備するもの	辞書(電子辞書可)		
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。		